
愁思郎事件 - a f t a r ~ カンオの心境

魔法戦隊三輪野助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愁思郎事件 - a f t a r \ カンオの心境

【Nコード】

N2589C

【作者名】

魔法戦隊三輪野助

【あらすじ】

原作コミック27巻の愁思郎事件の後の犯人の心境。 ネタバレです。それと作者が勝手に考えた箇所が多いですご了承ください

”オレは、殺してしまった……”

高校時代の仲間の佐藤を引き殺した事が記憶の底から甦る。

いや、オレとしては殺すつもりは全くなかったのが……本当は、あの時オレが自決を考えていたんだ。

でも、アイツは　佐藤は優しかった。一心不乱な状態に陥ったオレを闇から救って自分を犠牲にしてくれた。

アイツがオレに生きる勇気を与えてくれた。

と言っても強盗した金で立ち直るのも罪悪感を感じた。だから、家の仏壇に強盗した時の金を封印した。

忌々しく残った記憶とともに……。

佐藤の死去は脳裏には浮かぶ事がなかった。　無我夢中になって

は、濡れた道路上に踏み入れていたあの時のオレの思考内には。

自己暴落に陥って我に返っていたあの時は、佐藤の状態を考えてやる事が出来なかった。

　佐藤を助けてやりたかった。

今更後悔しても遅い事だが頭の隅に留めておく。オレは、頭に手を添えて俯いた姿勢で密かに眉に皺を寄せる。

あの頃に犯してしまった対処しようの無い罪を苦悩しながら思い出す。

幼い美和子ちゃんに父親を亡くしてしまった悲しみ　苦しみ
の事なんて考えてもしなかった。

「鹿野、どうしたんだ？」

同じ経営者の上の方の急な呼び掛けに対して応答に戸惑う。
オレは目を見開いて悪夢を見たかのように驚愕する。

「いえ……。別に……」

声を濁らせながら途切れ途切れに声を漏らす。

問いかけに対して拒否しているような態度が不意に表に出る。
何か、思い詰めた表情に変わった上司の方へ視線を向ける。

「そういえば……確か鹿野って料理の修行にイタリアに行くんじゃない
かったのか？」

「あつ、はい」

「頑張れよ」

「はい……」

オレは、弱々しく声を溢す。微量の冷や汗がつたる。

対話が途切れた途端に罪悪感に押し潰される。　私欲が原因で仲
間である佐藤を死に追いやってしまった事。幼い美和子ちゃんに父
親の死に目に遭わせてしまった事。

オレは、時効が過ぎるまで”それ”を隠し通さなければならぬ。

時効が近づいた頃には、あの正義感の強い佐藤と同様美和子ちゃんに事件の真相を見破られてしまいかもしれないけどな。

アイツと同じ迫ったような表情でこの事件の幕をおろすかもしれないな…。

(後書き)

先ず、始めに変な小説で申し訳ないです。展開も早い気がします。カンオの上司そんなやつは、適当です。勝手に居る事にしました。犯罪者でもカンオは気に入ってないですが佐藤刑事の父を死に追いやったやつなんて書いただけです。しかも、咄嗟に最近、犯罪者ネタが思いつきやすいんです。また、書けたら書こうと思います。私もわけわかりませんが書いてしまいました。

では、失礼致します

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2589c/>

愁思郎事件 - a f t a r ~カンオの心境

2010年10月15日22時26分発行